

2024年1月29日

報道関係者各位

田辺三菱製薬から富士製薬工業への3製品の製造販売承認の承継について

富士製薬工業株式会社（本社：東京都千代田区、以下「当社」）は、田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪府大阪市、以下「田辺三菱製薬」）との間で、「アザニン®錠50mg」、「コレバイン®錠500mg / コレバイン®ミニ83%」、「サーファクテン®気管注入用120mg」の計3製品につき、日本における製造販売承認および製造販売権等を承継する契約を、1月29日付で同社と締結しましたのでお知らせいたします。

上記3製品は、三菱ケミカルグループの田辺三菱製薬により、医療関係者、患者さまへ貴重な治療の選択肢として提供されております。

当社は、2024年9月期第4四半期（2024年7～9月）以降に順次、田辺三菱製薬から3製品の販売移管と製造販売承認の承継を進めてまいります。

アザニン®は免疫抑制剤で、臓器移植後の拒絶反応抑制のほか、クローン病や潰瘍性大腸炎、リウマチ性疾患などの治療に用いられています。コレバイン®は妊婦や授乳婦にも使用することができる高コレステロール血症治療剤、サーファクテン®は新生児呼吸窮迫症候群治療剤で、両製品は女性を中心とする産産期医療・母子医療で用いられています。3製品いずれも当社が事業展開している女性医療領域、消化器領域に深く関係した製品です。

当社は、多くの患者さまの健やかな生活に貢献するべく、承継後は3製品の製造販売元として責任をもって製品の情報提供および適正使用の推進と安定供給に取り組んでまいります。

なお、本承継による2024年9月期の当社連結業績予想に与える影響は軽微です。

<製造販売承認を承継する3製品>

	販売名	薬効分類
1	アザニン®錠 50mg	免疫抑制剤
2	コレバイン®錠500mg、コレバイン®ミニ 83%	高コレステロール血症治療剤
3	サーファクテン®気管注入用 120mg	新生児呼吸窮迫症候群治療剤

以上

【田辺三菱製薬について】

三菱ケミカルグループ（MCG）のファーマ部門である田辺三菱製薬は、1678年に創業、日本の医薬品産業発祥の地である大阪の道修町に本社を置き、医療用医薬品事業を中心とする製薬企業として、最も歴史ある老舗企業の一つです。MCGは経営方針「Forging the future 未来を拓く」の中で、ヘルスケアを最重要戦略市場に位置付けています。田辺三菱製薬は、「病と向き合うすべての人に、希望ある選択肢を。」をMISSIONとし、これを実現するため、中枢神経、免疫炎症、糖尿病・腎領域に加え、がん領域にも取り組んでいきます。有効性・安全性が高い患者層を見出し、治療満足度の高い薬剤をお届けする「プレジジョンメディシン」の他、予防・未病、重症化予防、予後にも目を向け、治療薬を起点に患者さんの困りごとに応える「アラウンドピルソリューション」を展開してまいります。<https://www.mt-pharma.co.jp/>

注意事項

本リリースに記載の将来の予想等に関する記述は、リリース作成時点で入手した情報に基づき当社にて判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があります。また、本リリースに含まれている医薬品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

【本件に関するお問い合わせ】

経営戦略本部 経営企画部 コーポレートコミュニケーション課

E-mail : fsks@fujipharma.jp